

ダイワ・ウォーターフォーラム 2010

2010年3月19日 東京

アジア開発銀行の取り組み

アジア開発銀行 水委員会 委員長
エイミー リャン

ADB

アジア・太平洋地域の水問題

多分野にわたる「水」の需要

- 家庭内の利用 (飲み水)
- 灌漑 (水使用全体の70%)
- 環境 (エコロジー・バランス)
- エネルギー創出 (水力発電)

どのように水を配分すればよいのだろうか？

アジア・太平洋地域の水問題

何百万人もの人々が
未だ水へのアクセスに制限

アジア・太平洋地域の普及率(2006年)

水の供給	85%
下水施設	56%

... さらに、人口増加の速度に合わせた
グローバルベースの物(食料等)の生産が必要

アジア・太平洋地域の水問題

莫大な資金需要

- 飲料水だけで年間80億米ドル
- 灌漑、水資源開発、洪水対策等に対する追加投資

... 過去の投資は不十分

アジア開発銀行の水問題への取り組み

中核となるアジア開発銀行の水事業

- 地方(農村地域)の水事業
- 都市の水事業
- 河川流域の水事業

水事業の改革と
機能拡充

アジア開発銀行の実績

累積投資総額 (1968 ~ 2009年)

地方(農村部)の水事業	75億米ドル
都市の水事業	100億米ドル
河川流域の水事業	75億米ドル

2010 ~ 2012 年
予定

87億米ドル

... 未だ不十分な状況。
2003年と2006年に、水関連投資の倍増の必要性が
強調された



「ウォーター・ファイナンス(水融資)・プログラム 2006-2010」 で水関連投資の倍増の要望に対応

2006～2010年の5年間で
水関連投資を総額200億米ドルに

- ADBからの支援 120億米ドル
- 民間部門および政府を
含めた金融パートナーからの支援
80億米ドル

ウォーター・ファイナンス(水融資)・ プログラム 2006-2010

水関連投資により3億4,000万人もの人々を支援

- 2億人の人々が安全な水供給および衛生施設の改善を受ける
- 4,000万人の人々が、より効率的で生産的な灌漑設備および下水道設備の利用が可能に
- 1億人の人々にとって洪水リスクが軽減

水関連事業の現状

- 2006～2009年に86億米ドルの融資承認
- 1億5,500万人もの人を支援

... 依然目標に未達。更なる投資が必要に

アジア開発銀行の 「ストラテジー2020」 (長期戦略)

- アジア開発銀行の貸出の80%をインフラ開発(水関連含む)と他の主要4分野に充当
- アジア開発銀行の事業の50%を民間部門への投資など、民間部門関連事業に充当

2010年以降(2011～2020年)の計画

- 「ストラテジー2020」を着実に実行
- アジア開発銀行の貸出総額のうち、最低20～25億米ドルを水関連とすることを目指す

2010年以降(2011~2020年)の計画

具体的な目標

- 都市の上下水道事業の効率化
- 灌漑農業の生産性向上
- 水質の向上
- 気候変動への適応強化
- 水ガバナンスの向上

ご清聴ありがとうございました

**エイミー リャン
アジア開発銀行 水委員会 委員長**

aleung@adb.org

ADB